

3 自立の「観光文化都市」づくり

1 函館ブランドの確立・発信

1. 函館ブランドの確立と商品の開発

施策名	施策の概要
<p>1) ブランドコンセプトの確立とシンボルデザインづくり</p> <p>新</p>	<p>函館観光のブランドイメージを確立し、オンリーワンの国際観光都市づくりを目指すため、市内の農林水産業、製造業、卸売・小売の各業界が連携して、函館から全国に向けて発信するオリジナルブランドを創出します。また、統一的なシンボルデザインの設定を検討します。</p> <p>{ 新 / 前～ / 公共 (促進) / 民間 }</p> <p>【展開事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「函館舞歌」(函館産釣りイカ・函館市漁業協同組合) ・「函館育ち」(米、長ネギなど10品目の道南地域統一ブランド・渡島地産地消戦略会議)
<p>2) オリジナリティの高い土産品の開発</p> <p>継</p>	<p>市内の農林水産業、製造業、卸売・小売の各業界が連携し、地元の素材を活用し、函館でしか買えないオリジナリティあふれる土産品を創出します。</p> <p>{ 継 / 前～ / 民間 }</p> <p>【施策展開時に必要とされる共有のイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが自信を持って「土産」にできる土産品 ・地域の素材を生かした土産品 ・函館「らしさ」を感じさせる土産品 ・高価格で高品質、低価格で値頃感(二極分化)

施策ピックアップ：ブランドコンセプトの確立とシンボルデザインづくり

「函館舞歌」ロゴマーク



統一ブランド米「函館育ち」について

当管内では、道南の温暖な気候を生かし、高粒安定した品質のお米の生産と高白度を特徴として生産者・卸売機同一となったブランド米作りに取り組んでいます。

「函館育ち」が目指すお米

- おいしいお米⇒精米タンパク6.3%以下
- 粒揃いのお米⇒高整粒80%以上
- 白いお米⇒玄米白度20以上
- 品質が安定したお米⇒施設集荷の増進

出典：「函館育ち」パンフレットより抜粋

(つづき)

施策名	施策の概要
4) 観光PRの充実 新 継	<p>観光パンフレットやポスターなどの「紙」媒体をはじめ、テレビ、ラジオ、インターネット、携帯端末など、あらゆる宣伝媒体を最大限活用し、函館観光のPRの充実に努めます。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ポスター・テレビ放送などの宣伝活動 { 継 / 前～ / 公共 } ・(再掲) 携帯端末を活用した情報提供システムの構築 { 新 / 前 / 協働 (産学官連携) } ・(再掲) インターネットによる情報提供の充実 { 継 / 前 / 協働 }
5) 修学旅行の誘致 継	<p>将来リピーターとして訪れる層として有望な、修学旅行のより一層の誘致を促進するため、学校訪問や説明会などの地道な誘致活動を通じて「旬」の情報を提供します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(再掲) 修学旅行向け体験型観光メニューの充実 { 継 / 前～ / 協働 }
6) 物産展の開催・参加 継	<p>航空直行便で接続された首都圏や大都市圏などはもとより、新たな航空路線が開設された地区や、交通アクセスの改善などにより、所要時間が短縮された地区などを対象として、物産展や観光展を開催し、効果的なPRに努めます。 { 継 / 前～ / 協働 }</p>
7) 冬季観光客の誘致 継	<p>秋から冬にかけての旬の味覚、多彩なイベントの積極的なPRなどを通じて、冬季を中心とする下期(10月～3月)の観光客誘致を促進します。</p> <p>{ 継 / 前～ / 協働 }</p>
8) プロモーションのプロの育成 新	<p>計画的かつ有効なプロモーションを展開するため、民間企業の専門家との協働や、外部からの専門家の招聘などを通じ、観光関連機関・団体等の資質向上を図ります。</p> <p>{ 新 / 前～ / 協働 }</p>

施策ピックアップ：冬季観光客の誘致

冬季を中心とする下期(10月～3月)の観光振興に向けた施策の複合展開

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景観資源の活用	香雪園の紅葉					
	いさり火					
イベントの充実			クリスマスファンタジー	一般住宅のライトアップ促進		
			イルミネーションファンタジー	規模拡大の検討		
				五稜星の夢	地元商店街との連携強化	
					冬フェスティバル	地元商店街との連携強化
「冬のサービスガイド」の充実			協賛事業者の拡大によるインセンティブの充実			
「食」の活用	冬に旬を迎える戸井・恵山・榎法華・南茅部の海の幸		湯の川温泉冬の味覚まつり	冬に旬を迎える戸井・恵山・榎法華・南茅部の海の幸		
「温泉」の活用	美容と健康をテーマとした函館・戸井・恵山・榎法華・南茅部の温泉資源の連携					
スキー・スノーボード客の誘致				スキー修学旅行の誘致		
東アジア地区観光客の誘致				旧正月休暇期間の誘致促進		

2 コンベンション・イベントによる振興

1. コンベンション機能の充実

施策名	施策の概要
1) 観光都市にふさわしいコンベンションホールの建設検討 新	コンベンションにより誘発される地域経済への多大な波及効果を踏まえ、宿泊型観光都市であり、コンベンション開催都市としての素地に恵まれる本市にふさわしいコンベンションホールの建設を検討します。 { 新 / 前～ / 協働 }
2) 既存施設の有効活用によるコンベンションの開催促進 継	既存の公共施設や大学等を有効活用するなど、創意工夫によりコンベンションの開催を促進します。 { 継 / 前～ / 公共(促進) 民間 }
3) アフターコンベンションの充実 継	アフターコンベンションは、コンベンション誘致自体にも直結する重要な要素となることから、コンベンションの同行者のための観光プランの作成などアフターコンベンションの充実を図ります。 { 継 / 前～ / 公共(促進) 民間 }
4) コンベンションのプランナーのためのガイド作成 継	コンベンション誘致のツールとして、コンベンション企画担当者向けのガイドブックの充実を図ります。 { 継 / 前～ / 公共 }
5) コンベンション受け入れ体制の充実 新	コンベンションの開催を促進するため、研究機関、企業・団体をはじめとする産学官連携はもとより、地縁・血縁の活用など市民総動員でコンベンションの誘致に取り組むほか、(社)函館国際観光コンベンション協会におけるコンベンションマネジメント体制の充実に努めます。 { 新 / 前～ / 公共 }

施策ピックアップ：観光都市にふさわしいコンベンションホールの建設検討

【参考事例】

かずさアーク(かずさアカデミアセンター)(木更津)

かずさアークは、去る2月21日、開業7周年を迎えました。7500件以上の国際・学術会議や講演会等各種イベントが行われた実績を持っています。当機構が誘致にご協力させていただいたアメリカ広告学会(American Academy of Advertising)のアジア・パシフィック会議も、2001年、2003年と連続で開催されました。これは異例のことです。「利用しやすく愛される施設」とは、このような施設をいうのではないのでしょうか。



くびきメッセ(島根県立産業交流会館)(島根)

昨年開館10周年を迎えたくびきメッセ。この愛称もすっかり定着しました。5000人収容可能な大展示場から、大小の会議室、多目的ホールまで揃い、国際会議を含む、様々なイベントに利用されています。アクセスも、出雲、米子の2空港を使える利点があります。島根・松江での国際会議開催にあたり、特筆すべきは整った支援制度です。例えば助成金。島根県と松江市両方の補助金制度を利用することが可能であるため、最高額は1000万円! 目がクラクラしそうな金額ですが、それだけ、県、市共にコンベンション開催の意義を重要視しているということです。



ワールドコンベンションセンターサミット(宮崎)

最大5000人収容、9ヶ国語同時通訳装置、1088席の可動席があるサミットホールを始め、大中小の会議室を備えた日本最大級の国際会議場です。2000年には九州・沖縄サミット外相会合の開催会場にもなりました。充実した施設の他、温暖な気候、恵まれた自然環境、手厚い支援サービス等、宮崎には会議開催のための最善の環境が整っています。宮崎コンベンション・ビューロー東京事務所があるので、都内の打合せ等も対応可能です。ぜひ、国際コンベンション・リゾートみやざきを体感して下さい。



出典：「JNTOコンベンションニュースVOL.9 ～実績のあるコンベンション会場～」(発行：独立行政法人国際観光振興機構コンベンション誘致部)より抜粋

2. イベントの創出と展開

施策名	施策の概要
<p>1) 既存イベントの再編・再構築</p> <p>継</p>	<p>既存イベントのさらなる内容充実に向けて、資金投資の効率化や大規模イベントへの集中投下など、より計画的かつ効果的な展開に努めます。</p> <p>{ 継 / 前～ / 公共 }</p>
<p>2) 市民自らが楽しめるイベントの創出と充実</p> <p>新 継</p>	<p>市民自らが楽しめるイベントを創出するため、今後とも参加型のイベントの充実に努めます。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はこだて花と緑のフェスティバルの開催 { 継 / 前～ / 協働 } ・市民文化祭の開催 { 継 / 前～ / 協働 } ・市民創作 函館野外劇の開催 { 継 / 前～ / 公共 (助成) 民間 } ・函館港イルミネーション映画祭の開催 { 継 / 前～ / 公共 (助成) 民間 } ・市民オペラの開催 { 継 / 前～ / 協働 } ・市民スポーツ大会など各種スポーツイベントの拡充 { 継 / 前～ / 協働 } ・函館国際水産・海洋都市構想に関連するイベントの開催 <p>{ 新 / 前～ / 公共 (促進) 民間 }</p>
<p>3) 大規模スポーツイベントの開催促進</p> <p>継</p>	<p>全国的なスポーツイベントを誘致することは、コンベンションと同様に大きな経済波及効果があることはもちろん、本市の知名度の向上にもつながる効果的な取り組みとなることから、今後も各種スポーツ大会の誘致を促進するほか、新たなスポーツイベントの創出について検討します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館ハーフマラソン大会の開催 { 継 / 前～ / 協働 } ・各種スポーツ大会の誘致 { 継 / 前～ / 協働 }
<p>4) 冬季ならではのイベントの創出、広域連携による冬季イベントの充実</p> <p>継</p>	<p>冬季を中心とする下期 (10月～3月) の観光入込みの底上げを図るため、集客効果の高い新規イベントを創出するほか、周辺町村との広域連携による冬季イベントの充実に努めます。</p> <p>{ 継 / 前～ / 協働 }</p>
<p>5) 市民によるイベントサポートシステムの確立</p> <p>新</p>	<p>イベントの開催には、多くの人材が必要となることから、イベントサポーター登録制度など、市民のイベント運営への積極的な参画を促す仕組みを検討します。</p> <p>{ 新 / 前～ / 公共 (促進) 民間 }</p>
<p>6) 各種交流事業の開催</p> <p>継</p>	<p>広域観光圏やゆかりのまち等との交流による相互理解の促進と、集客力の向上のため、多様な交流事業を継続します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青函のまつり交流事業 { 継 / 前～ / 協働 } ・青函インターブロック交流の推進 { 継 / 前～ / 協働 } ・青函ツインシティ交流の推進 { 継 / 前～ / 協働 } ・日本海峽フォーラムへの参加 { 継 / 前～ / 協働 } ・五稜郭ゆかりのまちとの交流の推進 { 継 / 前～ / 協働 } ・国際スポーツ交流の推進 { 継 / 前～ / 協働 }

4 自律の「観光文化都市」づくり

1 自律を促すシステムの確立

1. 評価・検証・推進体制の確立

施策名	施策の概要
1) 観光関連統計の充実 継	観光動向を的確に把握するため、既存の観光客アンケート調査や観光入込客数推計など、各種統計を引き続き実施するほか、必要に応じて内容的な充実を図ります。 { 継 / 前～ / 協働 }
2) クレームをプラスに転換できるシステムの構築 新	函館観光に対するクレームは、観光都市としての自律を促すうえでの重要な「資源」といえることから、クレームの改善に向けた的確な対応を期するため、市民・企業・行政が、協働で討議できる仕組みやルールを構築します。 【関連施策】 ・(仮称)函館市観光アドバイザー会議の設置 { 新 / 前～ / 協働 }
3) 観光関連施設評価システムの構築 新	観光関連施設に対する一定の「評価」があれば、それは観光客にとっては有益なデータとなるほか、事業者にとっても、プラス評価の場合は一層の意欲喚起につながります。その一方で、マイナス評価となった場合は、それが事業活動の盛衰にも直結することから、場合によっては訴訟問題にも発展する要素を含んでいます。こうした状況を踏まえ、観光関連施設の自律的な変化を促すための方策として、自己採点による「加点」方式の、楽しく話題性のある「自己評価」システムを検討します。 { 新 / 前～ / 協働 } 【自己評価内容・案】 ・客観的評価：バリアフリー対応状況、地産地消率 など ・主観的評価：笑顔のある従業員の数、オンリーワンメニューの数 など
4) (仮称)函館市観光アドバイザー会議の設置 新	観光基本計画の実効的な推進に向けて、計画内容の進捗状況の検証や時代の変化に的確に対応した施策展開などを討議していく組織を、市民・企業・行政の協働により設置します。 { 新 / 前～ / 協働 }

2 安全な観光地づくり

1. 「安全」、「安心」を担保するシステムの創出

施策名	施策の概要
1) 観光客が「安心」して楽しめる安全なまちづくり 継	市民が安全に生活でき、観光客が安心して滞在できるまちづくりを進めるため、道路環境の改善や「車の運転マナーが悪いまち」と言われる本市の交通マナー向上策の展開に努めます。 【関連施策】 ・(再掲)外国人のための生活相談の実施 { 継 / 前～ / 公共 } ・(再掲)歩道のロードヒーティングの整備 { 継 / 前～ / 公共 } ・除排雪体制の強化 { 継 / 前～ / 公共 } ・街路灯設置 { 継 / 前～ / 公共 } ・違法駐車防止対策の推進 { 継 / 前～ / 公共 } ・交通安全運動の展開 { 継 / 前～ / 協働 } ・交通安全教室等の開催 { 継 / 前～ / 公共 }

5 自発の「観光文化都市」づくり

1 美しいまちの創造

1. 生活空間の美化

施策名	施策の概要
1) 道路景観の向上 継	<p>主要観光資源周辺の無電柱化の検討や、市民にとって最も身近な緑の空間である道路沿道部の緑（街路樹や植樹ますの植栽樹木）の整備を通じて、美しくうるおいのある都市景観を創出します。また、国道や道道で展開されている住民主体の道路緑化活動「ボランティア・サポート・プログラム」を促進するほか、市道での「花いっぱい運動」の積極的な展開などを通じて、住民主体による生活空間の美化を図ります。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市緑の基本計画の推進 { 継 / 前～ / 公共 } ・広路の整備 { 継 / 前～ / 公共 } ・住民参加による道路空間の緑化推進 { 継 / 前～ / 公共 (促進) 、民間 }
2) 河川景観の向上 継	<p>多自然型の川づくりや河川護岸の緑化をはじめ、河川管理用道路の整備、旧河川敷などの緑化を通じて、良好な水辺空間を演出します。</p> <p>{ 継 / 前～ / 公共 }</p>
3) 公共施設の緑化推進 継	<p>市街地内の主要地区に位置する官公庁や学校、病院、さらには公園などの公共施設の緑化を通じて、身近な生活空間の修景美化を図ります。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(再掲) 函館市緑の基本計画の推進 { 継 / 前～ / 公共 } ・公共施設等の緑化の推進 { 継 / 前～ / 公共 }
4) 市民による花の庭づくり 継	<p>花で飾られた美しい住宅地づくりを促進するため、ガーデニングなど、市民による自宅の修景を促進します。</p> <p>{ 継 / 前～ / 公共 (促進) 、民間 }</p>
5) ごみの散乱防止と環境保全対策等の推進 継	<p>「北海道空き缶等の散乱の防止に関する条例」および「函館市ごみの散乱防止に関する条例」に基づき、美しく快適な生活環境の保全と良好な都市景観の形成に努めます。また、「函館市環境基本条例」および「函館市環境基本計画」に基づき、大気や川・海、地下水、騒音などの監視に努めます。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市環境基本計画の推進 { 継 / 前～ / 協働 }



市民による清掃活動状況（函館海岸）



市民による清掃活動状況（亀田川）

2. 観光都市としての「雰囲気」の醸成

施策名	施策の概要
<p>1) 西部地区の魅力ある街づくりの推進</p> <p>新 継</p>	<p>開港当時の歴史的な町並みが残されている西部地区の魅力を生かし、市民が暮らし賑わいのある街づくり目指し、都市再生特別措置法に基づく「都市再生整備計画」による各種施策の実施など、定住促進や新たな拠点形成、散策路整備、電線類の地中化等を展開します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(再掲)旧ロシア領事館の復元検討{継/前~/公共} ・(再掲)旧函館検疫所台町措置場の保存整備{新/前~/公共} ・(再掲)西部地区空家・空地活用の促進{継/前~/公共} ・旧西警察署の整備{新/前~/公共}
<p>2) 都市景観形成関連施策の展開</p> <p>継</p>	<p>自然と歴史にはぐくまれた函館らしい都市景観をまもり、そだて、つくり、個性豊かで快適な都市を創出するため、市民・企業・行政が協働して都市景観形成の関連施策を展開します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成指定建築物等の保全{継/前~/公共} ・都市景観形成地域指定の推進{継/前~/公共} ・景観形成にかかる融資のあっ旋(貸付金){継/前~/公共} ・指定建造物等の防寒改修への助成(補助金){継/前~/公共} ・指定建造物等取得にかかる利子補給{継/前~/公共} ・指定建造物等の維持管理への助成(補助金){継/前~/公共}
<p>3) 湯の川温泉街のさらなる景観向上</p> <p>新</p>	<p>湯の川温泉街のさらなる魅力強化を図るため、修景美化や雰囲気の醸成に向けた整備を検討します。また、「海」の活用に向けた環境整備に努めます。</p> <p>{継/前~/協働}</p>
<p>4) パブリックアートの設置</p> <p>継</p>	<p>市民が、うるおいとやすらぎ、豊かさを感じることができる魅力ある公共空間の創出を図り、文化の薫り高い都市の創造を目指すため、市民の憩いの場所や市民・観光客が行き交う賑わいのある場所など、公共空間へのパブリックアートの設置を推進します。</p> <p>{継/前~/公共}</p>



温泉街の景観向上



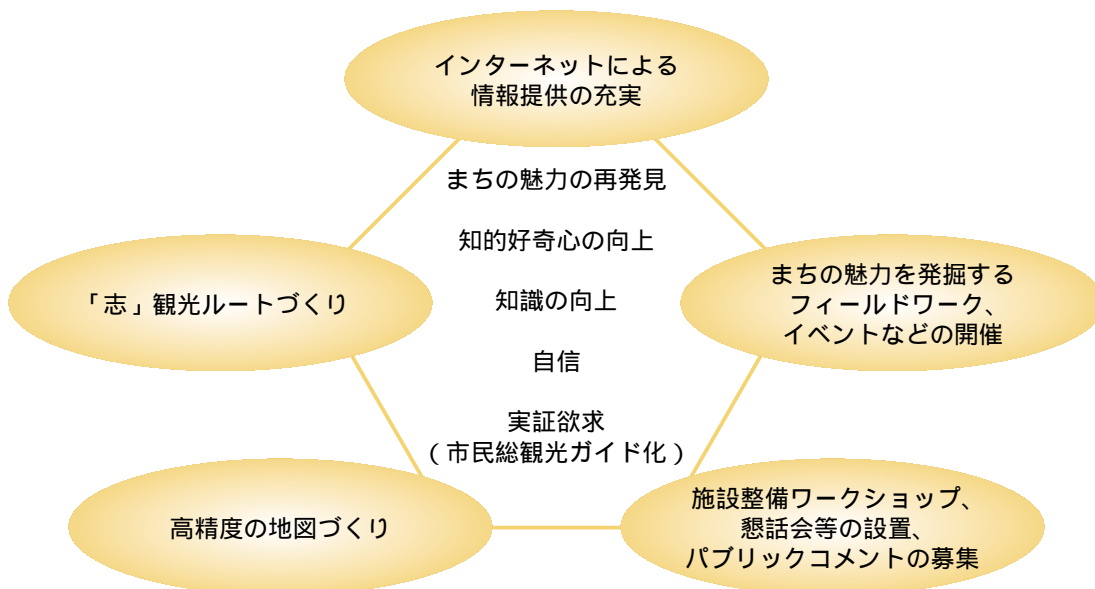
パブリックアート(ベイエリア)

2 ホスピタリティとサービスの向上

1. ホスピタリティの向上

施策名	施策の概要
1) ホスピタリティ意識の啓発普及 新 継	全市民が観光客をあたたかく「迎える」観光都市づくりを目指し、ホスピタリティ意識の啓発普及に向けた取り組みを強化します。 【関連施策】 ・タクシーなど観光関連従事者への「国際観光都市・函館」の啓発{継/前~/協働} ・観光都市の資質向上に向けた接遇・観光・商道德教育の実施{新/前~/協働} ・市民への「国際観光都市・函館」の啓発{新/前~/協働}
2) ホスピタリティ意識と郷土愛の醸成に向けた幼少期からの「人づくり」 新 継	自らの住むまちが日本有数の観光都市であり、さらに観光消費が地域の経済を大きく支えていることを啓発し、郷土函館を誇りに思い、観光客をあたたかく「もてなす」心を醸成するため、その最も効果的な手法として、幼少期からの「人づくり」に取り組みます。 【関連施策】 ・副読本「はこだての観光」の作成{新/前~/公共} ・「郷土の心を伝えるために～ふるさとの学習の手引き～(函館市教育委員会発行)の活用{継/前~/公共}
3) 市民総観光ガイド化に向けたシステムの創出 新 継	まちなかで観光客に道筋などを質問された時などには、全市民が適切に観光案内できる「市民総観光ガイド」化を目指し、意識の啓発に向けた取り組みの強化や、観光ボランティア団体・通訳団体等の活動内容のPRなどを通じて、広く市民の加入を促進します。 【関連施策】 ・(再掲)市民参加の観光資源の発掘・再構築{新/前~/協働} ・(再掲)「函館市まちかど観光案内所」の開設{継/前~/協働}

施策ピックアップ：市民総観光ガイド化に向けたシステムの創出



2. サービスの向上

施策名	施策の概要
<p>1) 観光活動フルサポートシステムの確立</p> <p>新 継</p>	<p>すべての人が、観光しやすい環境を創出するため、高齢者・障害者の車いす介助などのサポートや、観光活動が制限されやすい乳幼児同伴の家族旅行であっても安心して観光が楽しめる託児所サービスなど、観光活動をフルサポートする業態で、かつ条件的に適合()する起業者に対して、その設立を支援します。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(再掲) チャレンジ資金(2,000万円以内) {継/前~/公共(促進)} 融資期間 10年以内(2年以内の据置を含む) 融資利率 1.10%以内(ただし中心市街地内で開業する場合は1.00%以内) ・(再掲) チャレンジ補助金(500万円以内){継/前~/公共(促進)} 事業計画を作成・応募し、市長の認定が必要(応募条件のほか、審査・選考があります) ・観光客託児所システムの確立{新/前~/公共(促進)、民間} ・(再掲) 外貨の使用を可とするサービスの確立{新/後/民間}
<p>2) サービスの連携化</p> <p>新</p>	<p>観光地間競争の激化に対応し、競争力のある観光都市の実現を図るため、各種観光サービスの連携による利用環境の向上と「値頃感」の創出に努めます。</p> <p>【関連施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各交通機関の連携による周遊チケット制度の検討{新/前~/公共(促進)、民間} ・観光施設連携型割引カードシステムの検討{新/前~/協働} ・着地マネジメント(観光案内+イベント情報+チケット販売等)体制の充実{新/前~/協働}

3. 函館観光エキスパートの創出

施策名	施策の概要
<p>1) 函館ならではの「観光学科」の設立</p> <p>新</p>	<p>函館観光の将来を担う人材を育成するため、観光都市にふさわしい独自の「観光学科」の設立を目指します。</p> <p>{新/前~/公共(促進)、民間}</p>
<p>2) 人づくり・まちづくり事業の活用</p> <p>継</p>	<p>人づくり・まちづくり事業を活用し、「地域の語り部」など、幅広く観光振興に資する人材の育成に努めます。</p> <p>{継/前~/公共}</p>
<p>3) 産学官連携による函館観光の高度化</p> <p>新</p>	<p>地域の産学官が連携し、新たな観光サービスや観光情報の提供体制の充実など、函館観光の高度化に向けた研究活動を推進します。</p> <p>{新/前~/公共}</p>